

2023年2月2日

株式会社日本政策金融公庫

第215回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2022年10～12月期実績、2023年1～3月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、悪化している。
～景況は、足元で悪化しており、厳しい状況が続いている～**

- 【金融関連】○ 資金繰りD.I.は、▲25.2とマイナス幅が拡大した。
○ 借入難易感D.I.は、▲8.4と横ばい。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。
- 【保証利用】○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少した。
○ 来期(2023年1～3月)における保証利用要請D.I.は、▲3.9とやや低下した。
※ 保証利用要請D.I. ……金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】○ 生産・売上D.I.は、▲20.9とマイナス幅が拡大した。
○ 採算D.I.は、▲32.6とマイナス幅が拡大した。

【特別調査】「新型コロナウイルス感染症の影響について」

- 新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「現在影響あり」と回答した企業は69.9%と、前期と比べて低下し、20年4～6月期以降7割前後で推移している。
- 業種別にみると、全ての業種で「現在影響あり」と回答した企業が前期と比べて低下しており、製造業は5.6ポイント低下している。
- 建設業は「現在影響あり」と回答した企業が58.5%と他業種と比べて低い。

<調査の要領> 調査時点 2022年12月中旬
調査対象 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先
16,000企業を対象としており、**回答企業の約81%が従業員20人以下の小規模企業**となっています。
有効回答企業数 4,260企業
回答率 26.6%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険情報室 Tel:03-3270-2384(担当:城所^{きどころ}、今泉^{いちのき}、樺木)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

資料編につきましては[こちら](#)をご覧ください。

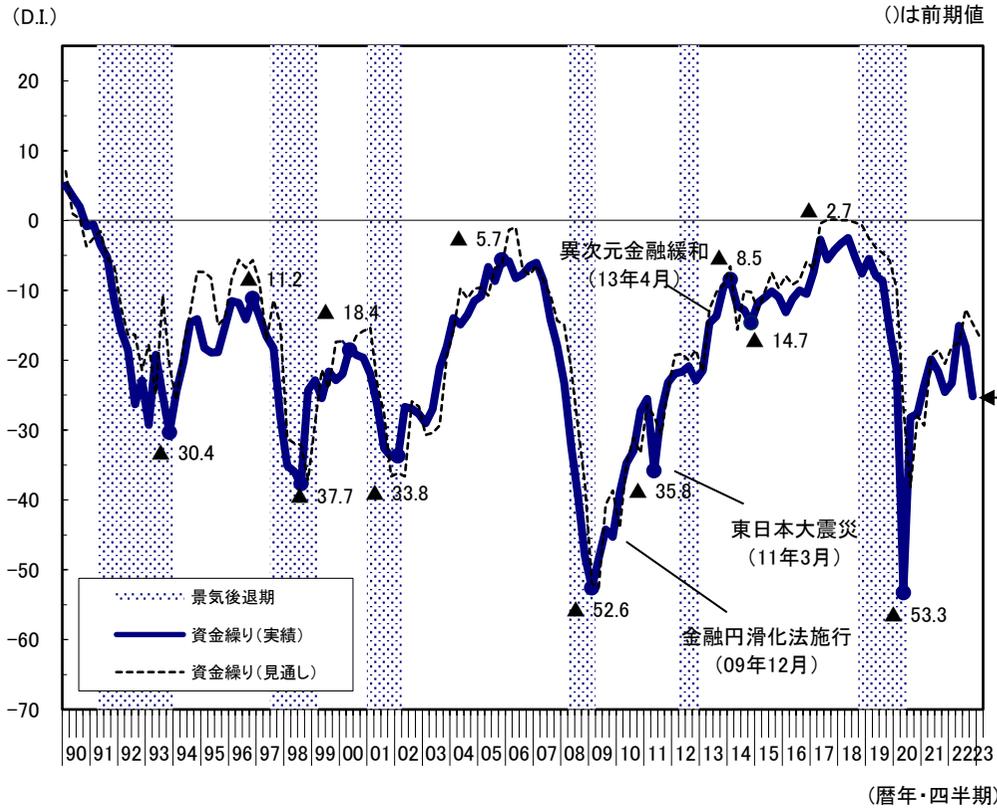
(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲25.2とマイナス幅が拡大した。
来期の見通しについては、▲16.6となっている。

		2021/10-12	2022/1-3	4-6	7-9	10-12	2023/1-3
資金繰りD.I.	実績	▲24.6	▲23.3	▲15.1	▲18.1	▲25.2	
	見通し	▲20.5	▲18.0	▲17.5	▲12.7	▲14.8	▲16.6

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



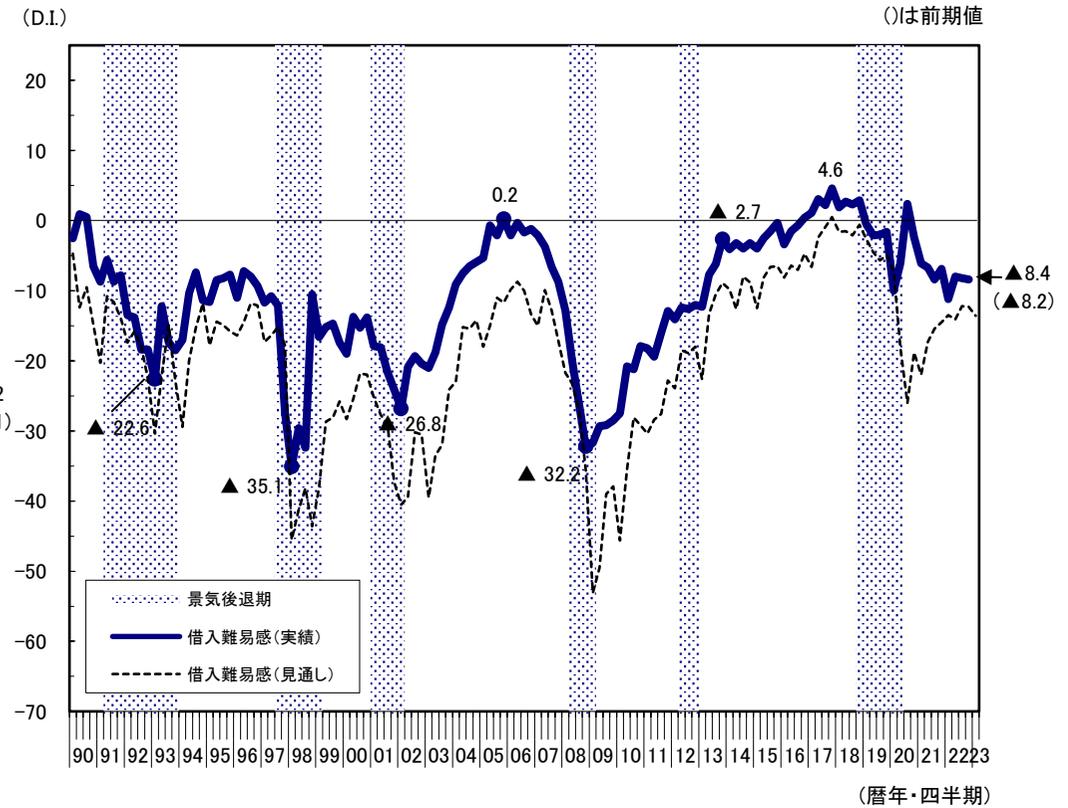
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲8.4と横ばい。
来期の見通しについては、▲13.6となっている。

		2021/10-12	2022/1-3	4-6	7-9	10-12	2023/1-3
借入難易感D.I.	実績	▲6.9	▲11.2	▲8.0	▲8.2	▲8.4	
	見通し	▲14.5	▲13.5	▲14.1	▲12.2	▲12.3	▲13.6

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。

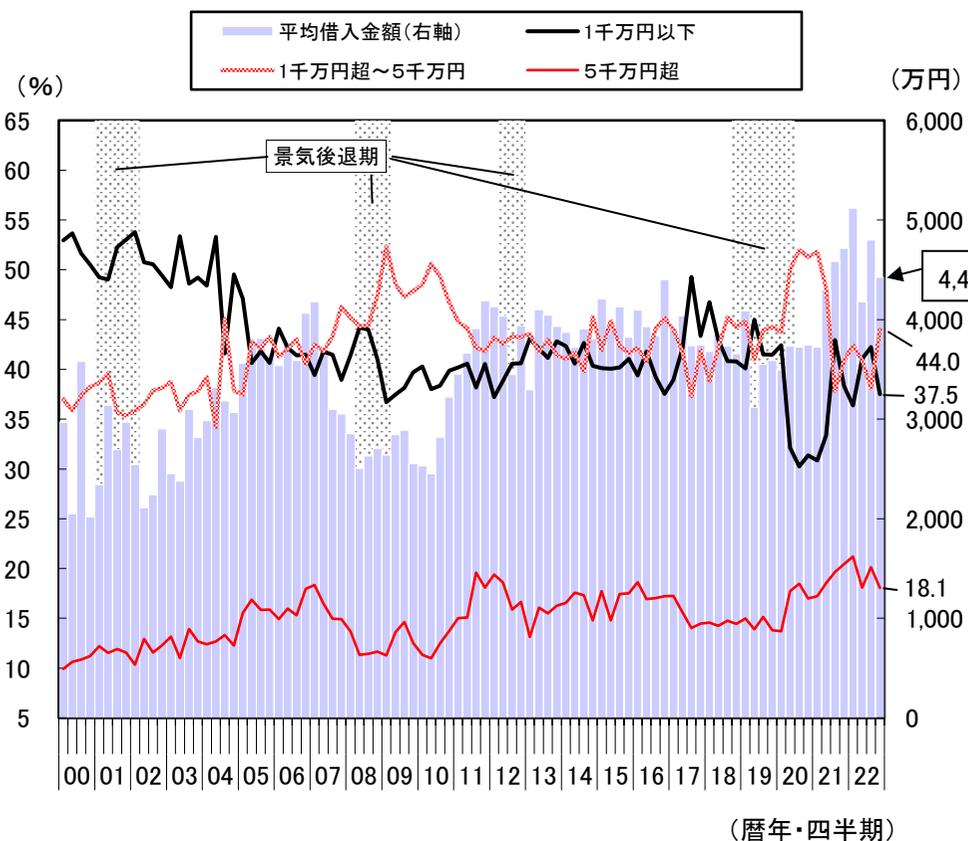
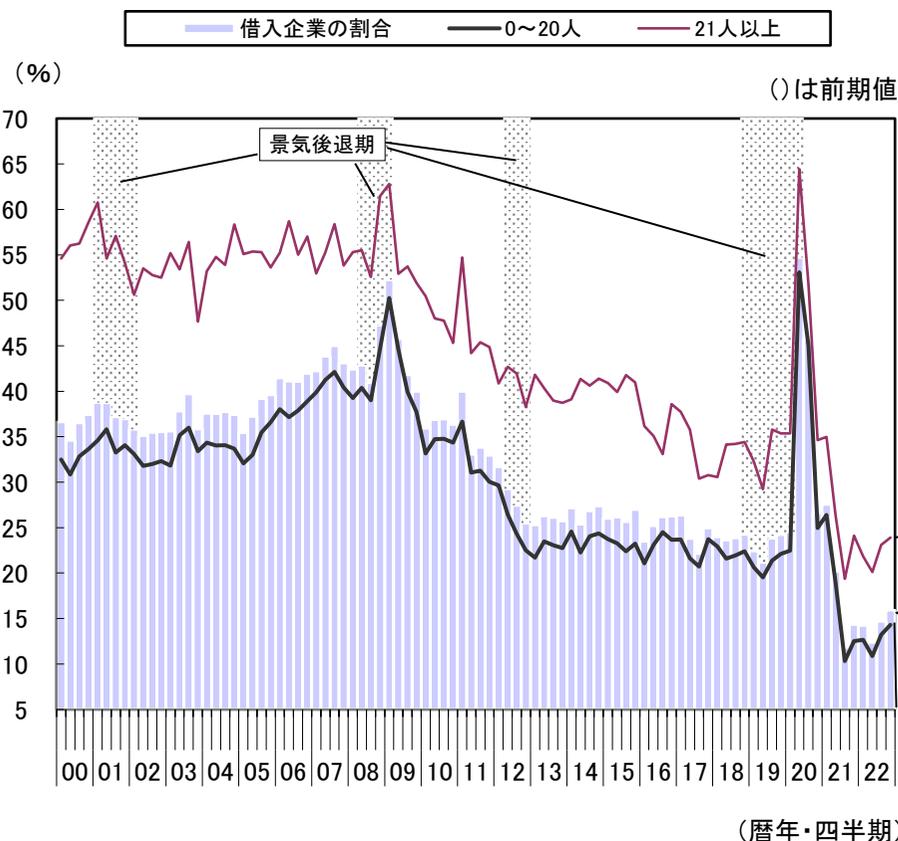
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」、「5千万円超」がやや減少した一方で、「1千万円超～5千万円」が増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2021/10-12	2022/1-3	4-6	7-9	10-12
借入企業の割合	14.4	14.2	12.4	14.7	15.9
0-20人	12.5	12.7	10.9	13.2	14.3
21人以上	24.1	21.8	20.1	23.1	23.9

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

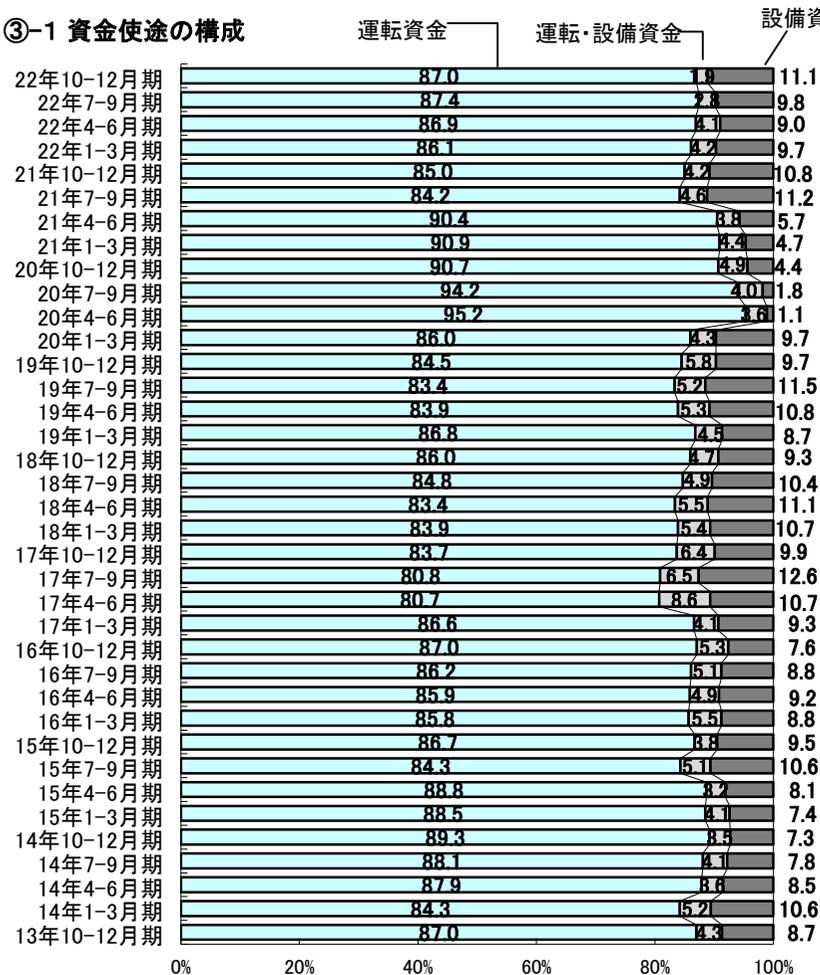
	2021/10-12	2022/1-3	4-6	7-9	10-12
1千万円以下	38.3	36.4	41.0	42.2	37.5
1千万円超～5千万円	40.9	42.4	40.9	38.1	44.0
5千万円超	20.5	21.2	18.1	20.1	18.1



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

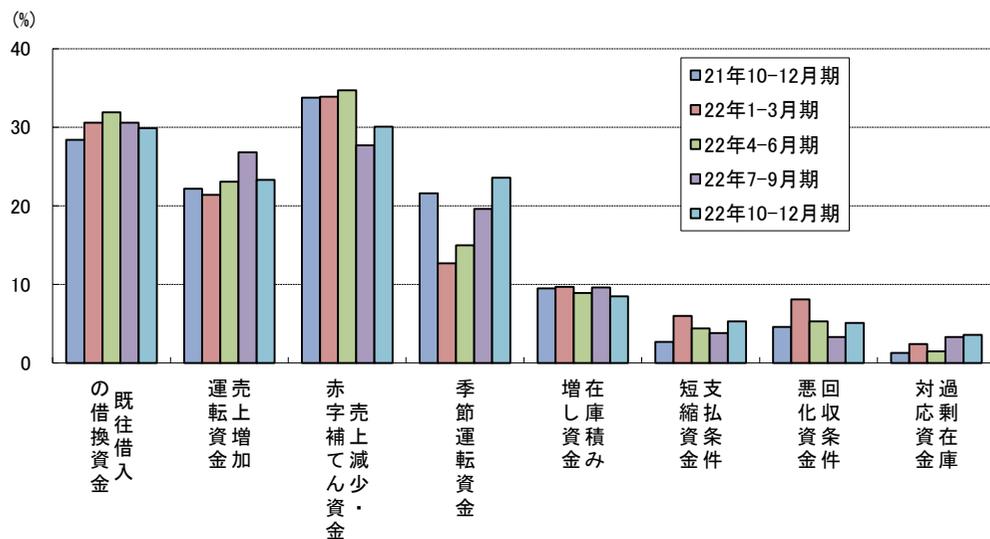
- ・資金使途の構成については、運転資金の割合は横ばい、設備資金の割合はやや増加した。
- ・運転資金の内訳では、「売上減少・赤字補てん資金」の割合がやや増加し、2期ぶりに最も高い割合となった。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳 (原数値)

	既住借入の借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
22年								
10-12月期	29.9	23.3	30.1	23.6	8.5	5.3	5.1	3.6
7-9月期	30.6	26.8	27.7	19.6	9.6	3.8	3.3	3.3
4-6月期	31.9	23.1	34.7	15.0	8.9	4.4	5.3	1.5
1-3月期	30.6	21.4	33.9	12.7	9.7	6.0	8.1	2.4
21年								
10-12月期	28.4	22.2	33.8	21.6	9.5	2.7	4.6	1.3



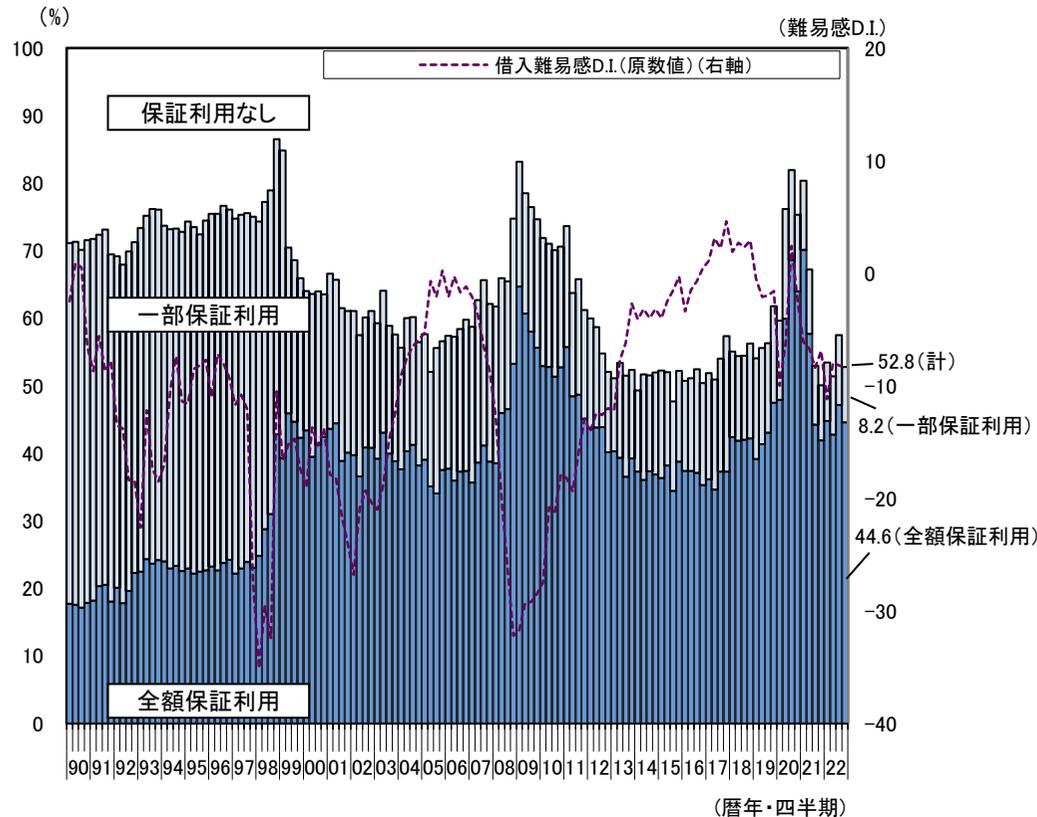
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
 2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少した。

	2021/10-12	2022/1-3	4-6	7-9	10-12
保証利用企業の割合	50.1	53.5	51.4	57.5	52.8
全額利用	41.9	44.7	42.8	47.2	44.6
一部利用	8.1	8.7	8.6	10.3	8.2
保証利用がない企業の割合	49.9	46.5	48.6	42.5	47.2

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

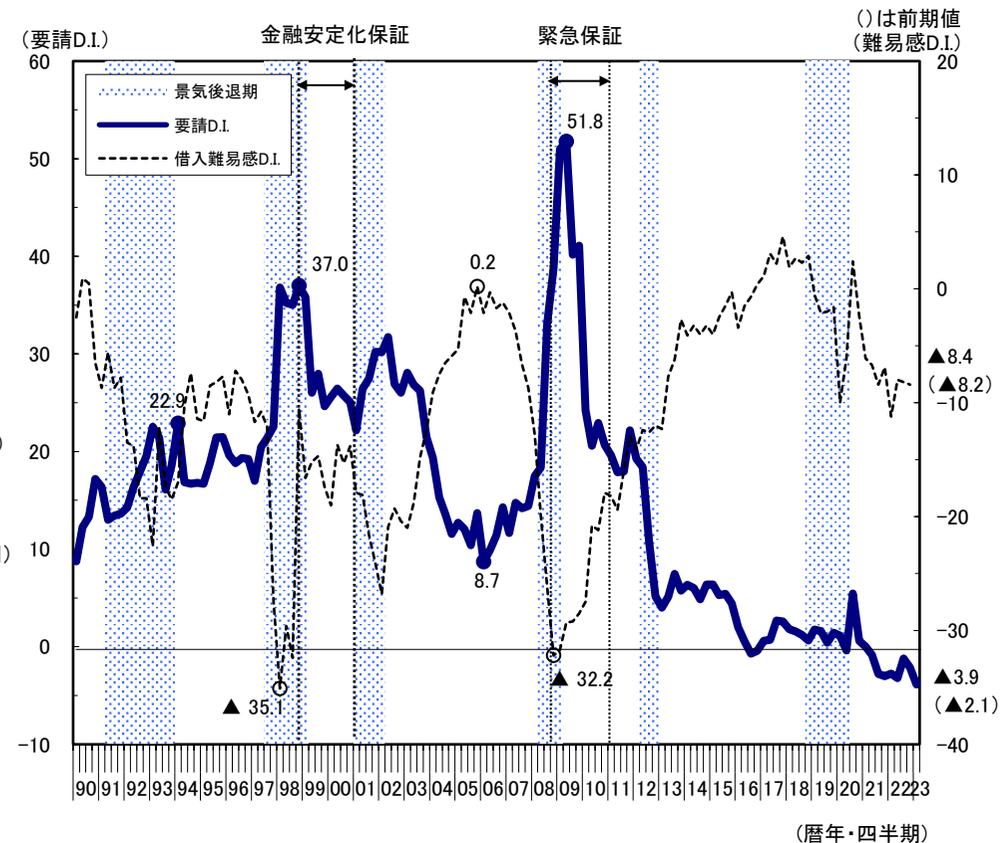
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(23年1~3月)における保証利用要請D.I.は、▲3.9とやや低下した。

	2021/10-12	2022/1-3	4-6	7-9	10-12	2023/1-3
要請D.I. 見通し	▲3.0	▲2.8	▲3.2	▲1.2	▲2.1	▲3.9
借入難易感D.I. 実績	▲6.9	▲11.2	▲8.0	▲8.2	▲8.4	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



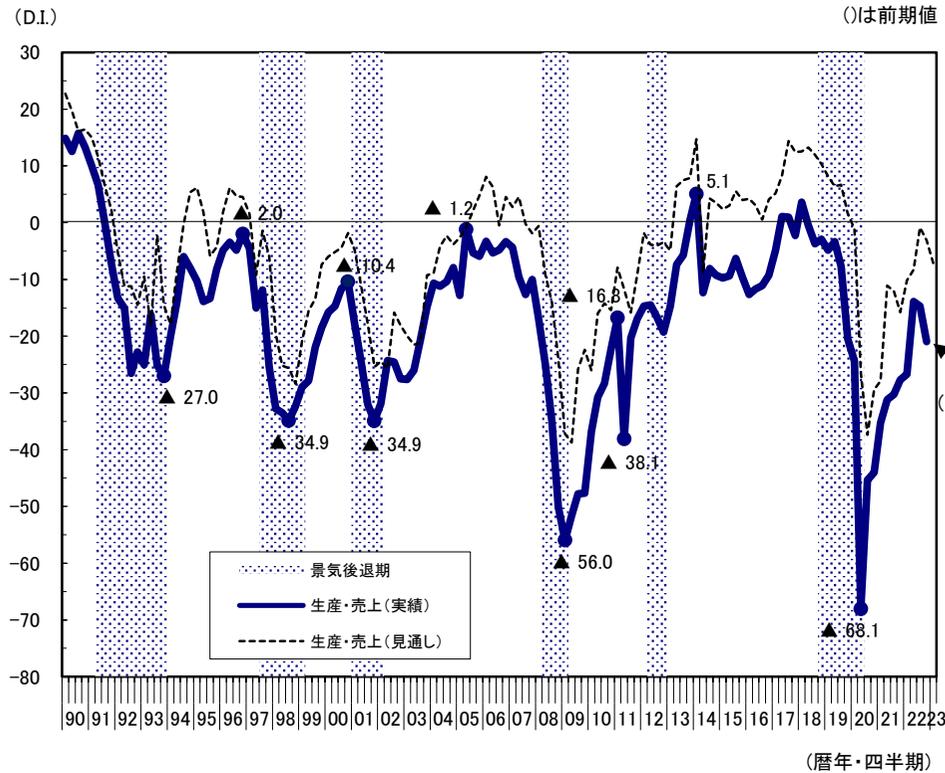
(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲20.9とマイナス幅が拡大した。
来期の見通しについては、▲7.1となっている。

		2021/10-12	2022/1-3	4-6	7-9	10-12	2023/1-3
生産・売上D.I.	実績	▲27.7	▲26.7	▲13.9	▲14.7	▲20.9	
	見通し	▲15.8	▲10.2	▲8.3	▲0.8	▲3.1	▲7.1

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

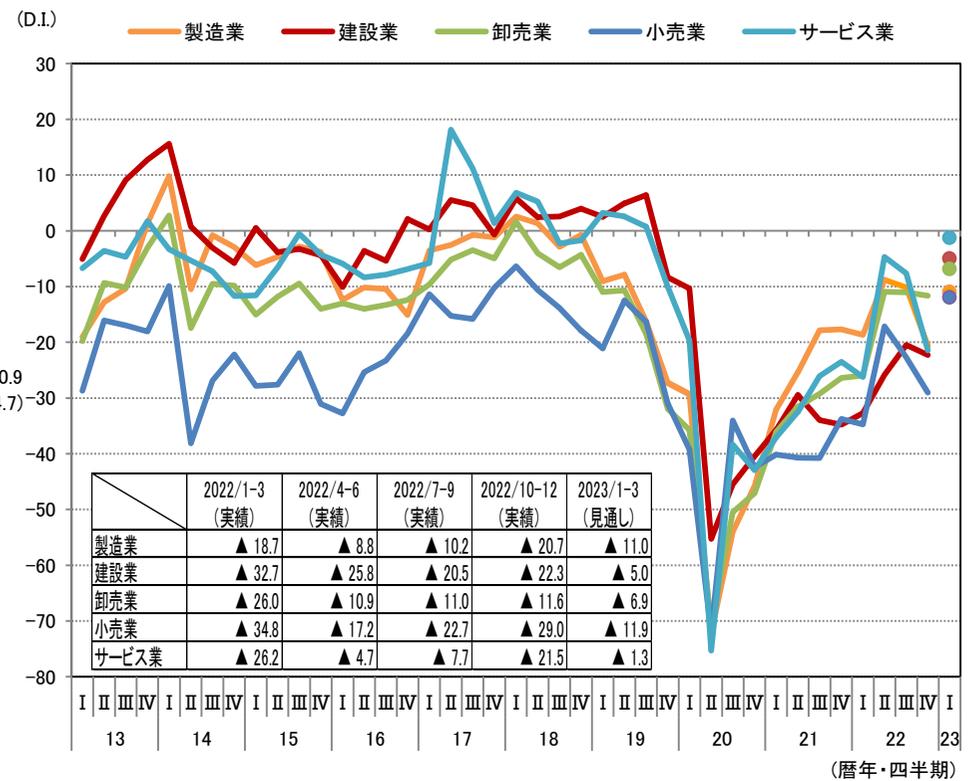
生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



生産・売上(業種別)

・生産・売上D.I.(業種別)は、全ての業種でマイナス幅が拡大し、特に、製造業及びサービス業では大幅な拡大となった。

業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



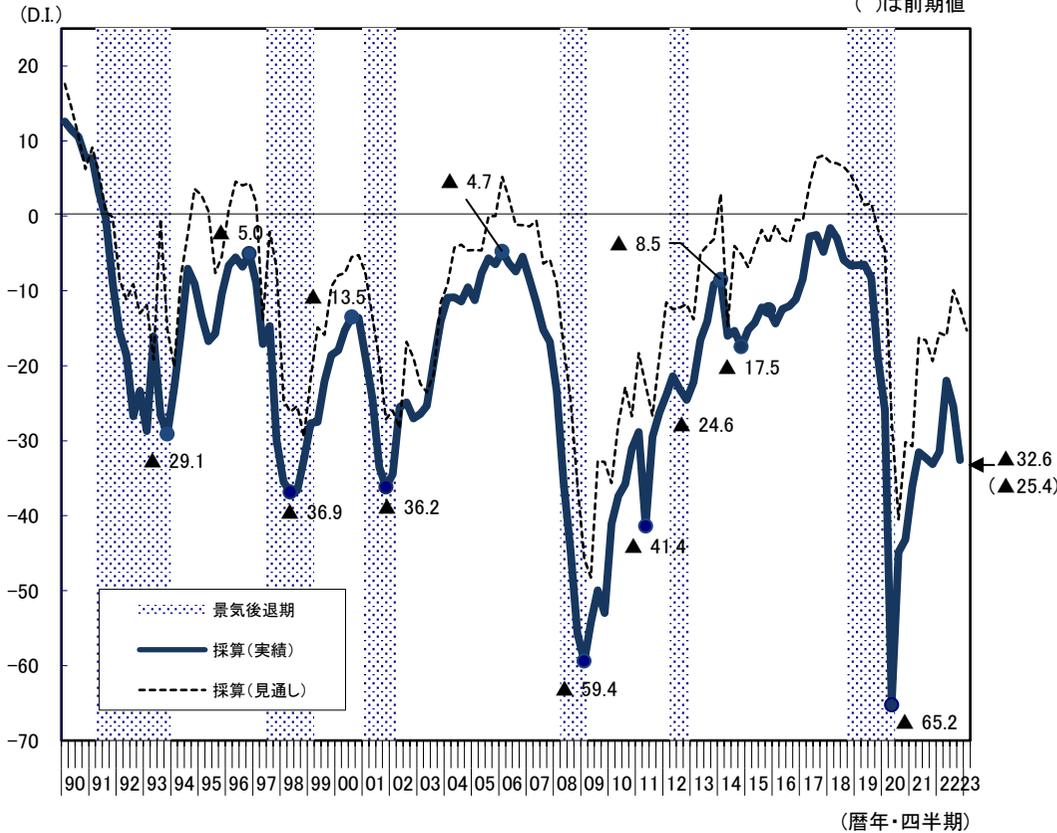
(6) 採算

- ・採算D.I.は、▲32.6とマイナス幅が拡大した。
来期の見通しについては、▲15.3となっている。

		2021/10-12	2022/1-3	4-6	7-9	10-12	2023/1-3
採算D.I.	実績	▲33.1	▲31.4	▲22.0	▲25.4	▲32.6	
	見通し	▲19.4	▲15.6	▲16.0	▲9.9	▲12.2	▲15.3

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

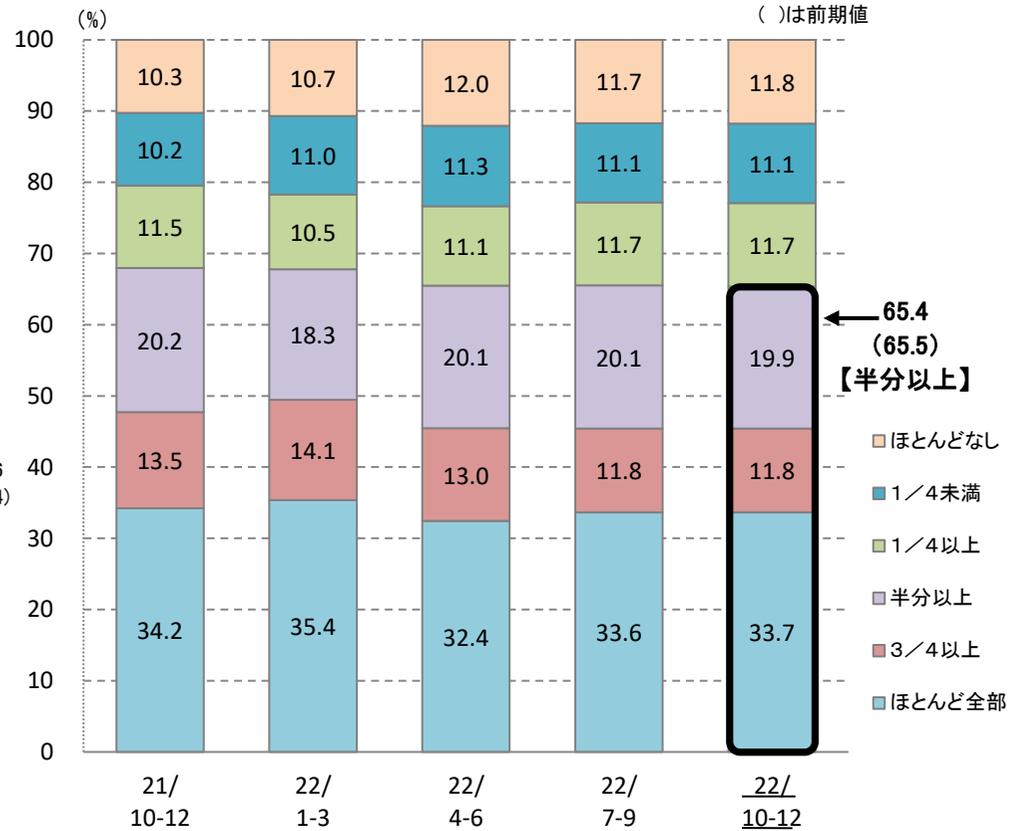
採算D.I.(季節調整値)の推移



(参考) 保証利用割合

- ・借入総残高に占める保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が65.4%と横ばいとなった。

保証利用割合の推移

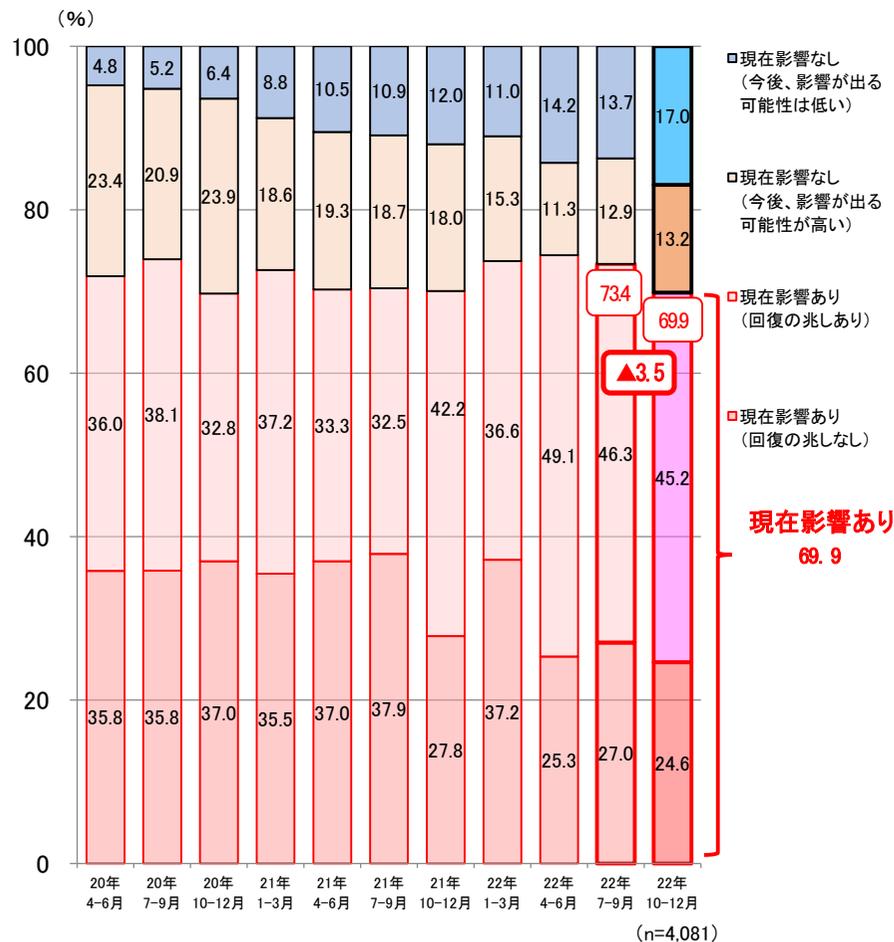


特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「現在影響あり」と回答した企業は69.9%と、前期と比べて3.5ポイント低下し、20年4～6月期以降7割前後で推移している。
- ・業種別にみると、全ての業種で「現在影響あり」と回答した企業が前期と比べて低下しており、製造業は5.6ポイント低下している。
- ・建設業は「現在影響あり」と回答した企業が58.5%と他業種と比べて低い。

(1) 企業活動へのマイナスの影響



(2) 企業活動へのマイナスの影響【業種別】

